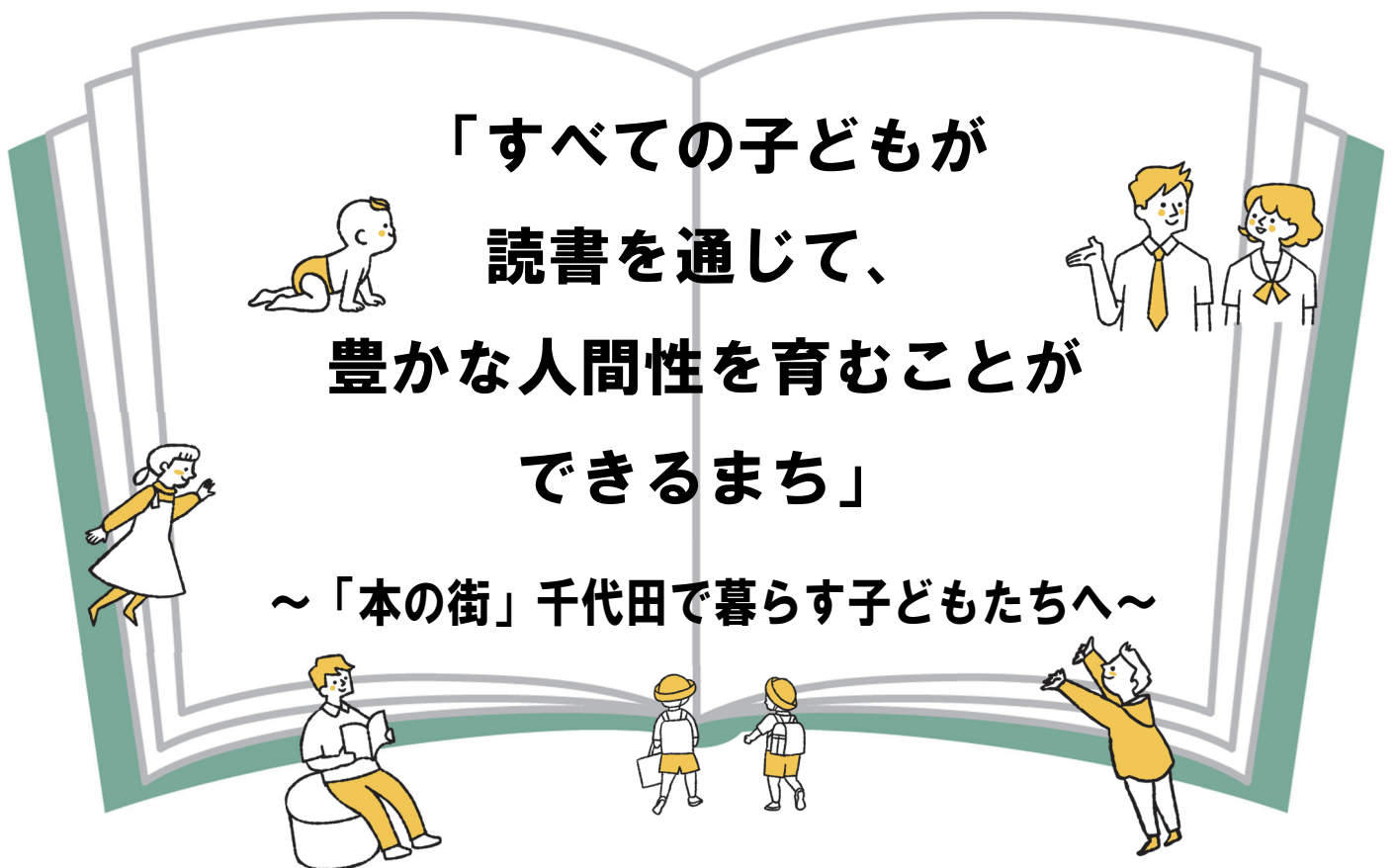
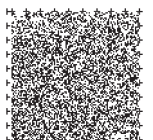


第4次 千代田区子ども読書活動推進計画



令和7年3月
千代田区
千代田区教育委員会



子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」です。

しかしながら、新しい生活様式や電子書籍の普及、学校の ICT 化といった新たな環境の変化が生じ、子どもの読書活動においてその影響は避けられないものとなっています。

また、インターネット環境の著しい進展により、知識情報の入手が容易になった一方、ネット上には真偽が疑わしい情報もあふれていますが、子どもの頃から文字や活字に親しむ習慣をつけることは、総合的な知識や判断力を培い、情報リテラシーを高めるのに大いに資すると考えられます。

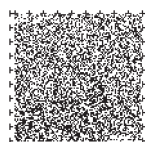
このように、時代の変化にも対応しながら、世界有数の出版関連産業の集積地である千代田区の特性を活かし、千代田区の子どもの読書活動に関する施策と取組みを総合的かつ計画的に推進していくことが求められています。

計画の策定の趣旨

今回、国の第五次計画が策定されたことも踏まえ、引き続き子どもの読書活動を推進していくために、関連法や国、都等の計画を勘案しつつ、「第3次千代田区子ども読書活動推進計画」における取組結果や課題、諸情勢の変化等の検証を行いながら、今後の施策の基本方針と具体的方策を明らかにし、「第4次千代田区子ども読書活動推進計画」を策定します。

子どもの読書活動に関する動向

平成13年12月	(国)	「子どもの読書活動の推進に関する法律」施行
平成14年8月	(国)	「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定
平成15年3月	(都)	「東京都子供読書活動推進計画」策定
平成19年3月	(区)	「千代田区子ども読書活動推進計画」策定
平成30年4月	(国)	第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定
令和元年6月	(国)	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」施行
令和元年7月	(区)	「第3次千代田区子ども読書活動推進計画」策定
令和3年3月	(都)	「第四次東京都子供読書活動推進計画」策定
令和5年3月	(国)	第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」閣議決定
令和6年度	(区)	「第4次千代田区子ども読書活動推進計画」策定



千代田区の現状

(1) 第3次計画の取組み及び結果と課題

第3次計画では、「特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進」「子どもを取り巻く大人への支援」「ボランティア活動の支援」に力を入れて取り組んできました。

① 特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進

主な取組み	・特別な支援を要する児童や生徒などに対する読書活動の支援
結果	・読書支援サービスの利用実績について、多くはなかった。
課題	・当事者やその保護者のニーズを把握し、読書支援のサービスに関する周知方法の検討や幅広い情報提供が必要。

② 子どもを取り巻く大人への支援

主な取組み	・保護者を含む子どもを取り巻く大人に向けた読書活動の支援
結果	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、講座実施回数が減少。
課題	・対面式以外での講座等の実施検討や、保護者、教職員等のニーズの把握。

③ ボランティア活動の支援

主な取組み	・ボランティアのスキルアップ講座等の開催、活動機会の提供
結果	・新型コロナウイルス感染症の影響もあり、支援事業や活動機会が大幅に減少。
課題	・区立図書館に求められている役割等を整理、ボランティアの活用方法の検討。

(2) アンケート結果から見える現状と課題

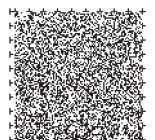
毎年度実施している「千代田区子ども読書調査」（区立小学校・中学校、九段中等教育学校〔前期課程〕の児童・生徒対象）に加え、令和6年度は「九段中等教育学校〔後期課程〕の生徒」と「区立小学校に通う児童の保護者」を対象としたアンケート調査を実施しました。

【小・中学生調査】

普段の読書時間について (※1日30分以上、本を読んでいる割合)		読書の意識について (※本を読むのは好きと回答した割合)	
小学生	44.1%	小学生	82.9%
中学生	24.9%	中学生	71.7%
読書量について (※前の月に1冊以上本を読んでいる割合)		大切な本や忘れられない本について (※あると回答した割合)	
小学生	90.1%	小学生	68.1%
中学生	81.9%	中学生	61.0%

課題

小・中学校での、朝読書などの活動を継続して実施し、読書の時間を確保することによって、子どもの読書習慣の形成を積極的に促していくことが重要です。



【高校生調査】

普段の読書時間について (※1日30分以上、本を読んでいる割合)	読書の意識について (※本を読むのは好きと回答した割合)
9.9%	76.7%
読書量について (※前の月に1冊以上本を読んでいる割合)	大切な本や忘れられない本について (※あると回答した割合)
57.4%	75.0%

課題

進学や将来のことで多忙である高校生においては、限られた時間の中で読書の優先順位が上がるようなきっかけづくりが必要となります。

【小学生保護者調査】

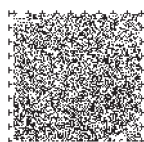
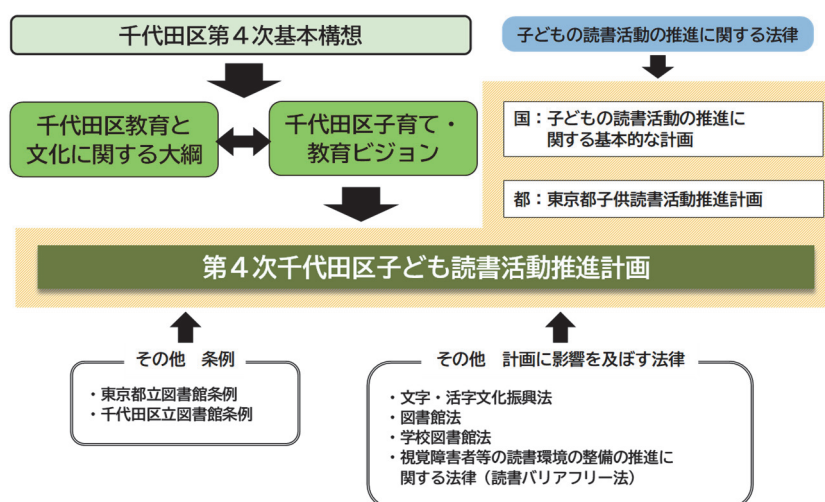
図書館の利用状況について(※月に1回以上利用すると回答した割合)	
55.4%	
子どもたちの読書活動を推進するにあたって必要なことについて(※上位3位までを記載)	
親子で図書館や書店に行く機会を増やす	67.7%
子どもが小さいときから、親が本の読み聞かせをする	65.7%
親自身が読書を楽しむ	64.5%

課題

子どもの読書活動推進の担い手として大人を巻き込んだ施策を展開し、親子がともに読書に親しめる機会の創出や環境を整備することが大切です。

計画の位置付け

第4次計画は、「千代田区第4次基本構想」を踏まえて千代田区教育委員会が策定した「千代田区子育て・教育ビジョン」に基づく個別計画のひとつであり、「子どもの読書活動の推進に関する法律」第9条第2項の規定に基づく計画として位置付けます。



計画の期間

令和7年度から令和11年度までの概ね5年間とします。

基本理念

「すべての子どもが読書を通じて、豊かな人間性を育むことができるまち」をめざす
～「本の街」千代田で暮らす子どもたちへ～

基本方針

基本方針① 豊かな読書体験ができる環境と機会の充実

学校や図書館、地域での読書イベントやワークショップなど、本の世界を通じて子どもたちがわくわくしながら文字・活字に親しみ、豊かな読書体験ができる環境と機会を充実させ、知識や想像力、思いやりの心など、豊かな感性を育みます。また、ボランティアを含めた担い手の育成にもより一層力を入れていきます。

基本方針② 多様な子どもたちに寄り添った読書環境の充実

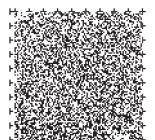
障害のある子どもや日本語指導を必要とする子ども、本のある場所に行きにくい子どもなど、多様な子どもたちが利用しやすい書籍（点字図書、拡大図書、録音図書、触る絵本、LLブック、布の絵本、様々な言語の本を揃えた多文化対応等）や電子書籍を充実させ、本を読むことが困難な子どもにも本を楽しんでもらえるよう、読書におけるバリアフリー化を進めます。

基本方針③ 紙書籍と電子書籍を活用したハイブリッドな読書環境と機会の提供

スマートフォンやタブレットの普及により、社会では電子書籍やオーディオブックの利用が広がっています。この進化したデジタル技術を活用しながら、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進するとともに、貴重な蔵書や絵本など、紙の書籍ならではの体験も大切にする事で、様々な環境や発達段階に応じた読書媒体を推奨していきます。そして、すべての子どもが好きな時に好きな場所で本に触れることができる環境を整備します。

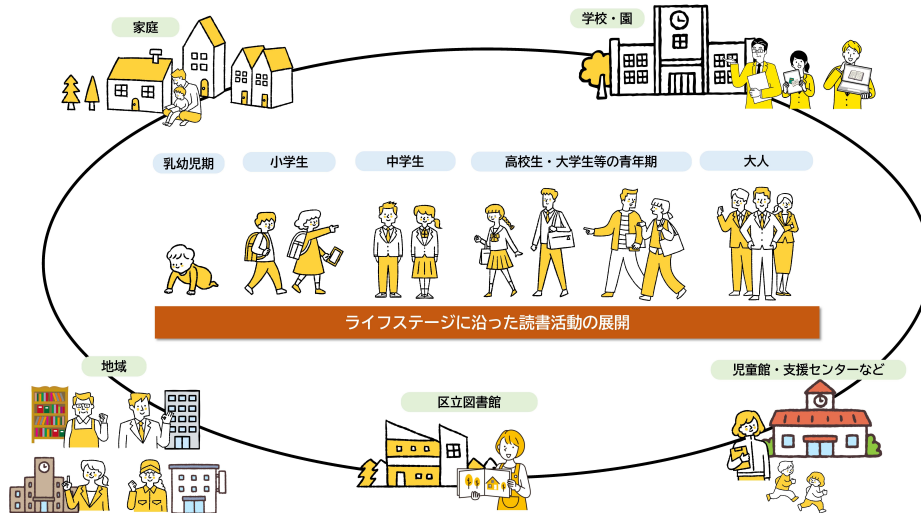
基本方針④ 身近な大人への読書に対する意識啓発と広報の推進

地域の各関係機関と連携して、大人も一緒に読書を楽しむことができる機会を創出し、子どもの最も身近な存在である保護者をはじめ、教職員や保育者等、子どもの成長に深く関わる大人たちのニーズの把握に努めながら、読書に対する意識向上を図ります。さらに、子どもの読書活動の推進に千代田区全体で取り組んでいくため、子どもの読書活動の意義や読書に関するイベント等の広報活動により一層力を入れていきます。



施策の担い手

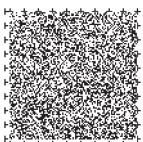
第4次計画では、家庭、学校・園、区立図書館、地域（ボランティア、古書店・書店、出版社・新聞社、大学等を含む）など、すべての人を担い手として捉え、千代田区全体でつながり合いながら、読書活動を推進していきます。



めざすべき目標

第4次計画を推進するにあたり、読書時間の確保や読書に対する意識の変化等を測定するため、次のとおり指標を設定します。

	指標	現状		令和11年度の目標
1	本を読むのが好きな児童・生徒の割合	小学生	82.9%	100%をめざし 現状より増やす
		中学生	71.7%	
		高校生	76.7%	
2	調査実施の前月に本を1冊も読まない児童・生徒の割合	小学生	3.6%	0%をめざし 現状より減らす
		中学生	16.3%	
		高校生	42.5%	
3	大切な本や忘れられない本がある児童・生徒の割合	小学生	68.1%	100%をめざし 現状より増やす
		中学生	61.0%	
		高校生	75.0%	
4	多様な子どもたちのための資料の充実	区立図書館5館の総数	490点	現状より充実させる
		学校図書館11校の総数	1,327点	
5	千代田Web図書館の児童・生徒向けコンテンツ数の充実	1,146点		現状より充実させる
6	乳幼児向けおはなし会の参加人数	1,341人		1,500人
7	子どもから大人までを対象としたイベント・講座等の実施件数	18件		25件



第4次計画における主な取組み

① 豊かな読書体験ができる環境と機会の充実

- | | |
|-----------------------|----|
| 1 読書イベントや講座・講演会等の実施 | 拡充 |
| 2 「本の街」千代田の特長を活かした取組み | 拡充 |
| 3 ボランティアなど人材の育成・活用 | 拡充 |
| 4 図書館における新たな読書空間の創設 | 新規 |
| 5 情報リテラシー向上のための取組み | 拡充 |

② 多様な子どもたちに寄り添った読書環境の充実

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1 りんごの棚※の設置 | 拡充 |
| 2 外国語の絵本の展示や読み聞かせイベントの実施 | 継続 |
| 3 本のある場所に行きにくい子どもへの支援 | 新規 |
| 4 図書館における新たな読書空間の創設（再掲） | 新規 |
| 5 ICTを活用した読書環境の充実 | 調査・検討 |

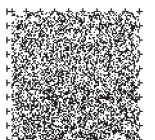
※りんごの棚とは、「子どもは皆、本を必要としており、読書の喜びを体験する権利がある」という考えのもと、特別なニーズのある子どもたちのために設置される本棚です。

③ 紙書籍と電子書籍を活用したハイブリッドな読書環境と機会の提供

- | | |
|----------------|-------|
| 1 貴重資料のデジタル化推進 | 新規 |
| 2 図書館のDX化推進 | 調査・検討 |

④ 身近な大人への読書に対する意識啓発と広報の推進

- | | |
|------------------------|-------|
| 1 はじめての人が学べる読み聞かせ講座の実施 | 継続 |
| 2 SNSを活用した情報発信 | 拡充 |
| 3 新たなSNSの活用 | 調査・検討 |
| 4 学校への情報発信 | 拡充 |



第4次千代田区子ども読書活動推進計画 概要版

令和7年3月

編集・発行：千代田区 地域振興部 文化振興課

千代田区 教育委員会事務局 子ども部 指導課

所在地 : 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1

電話番号 : 03-5211-3629

本計画書（概要版）の著作権はすべて千代田区に帰属するものとし、千代田区の承認を得ずに加工を行うことはできません。

